

R L P - コレステロール(レムナント様リポ蛋白コレステロール)

臨床的意義

レムナント様リポ蛋白コレステロール(R L P - コレステロール; R L P - C)は腸管由来のカイロミクロンおよび肝臓由来のV L D Lが血管内皮表面に存在するリポ蛋白リパーゼによって水解される結果生じる中間代謝物といわれています。R L P - Cは代謝が速やかで健常者の空腹時には存在しませんが、この代謝過程が障害されると血中にうっ滞し増加します。

R L P - CはL D L - Cと異なり、変性を受けなくても単球由来のマクロファージに貪食され、貪食したマクロファージは最終的に泡沫細胞となり脂肪斑が形成されます。すなわちR L P - Cの増加は動脈硬化巢の初期病変形成に促進的役割を果たします。

したがって脳梗塞や心筋梗塞など動脈硬化症においてR L P - Cの増加は危険因子のひとつに相当すると考えられ、メタボリック・シンドロームの診断指標として注目されています。

また糖尿病患者、I G TにおいてR L P - Cは有意に高値を示すことが知られ、冠動脈疾患、腎疾患などの合併症との関連も報告されています。そのほか冠動脈硬化をほとんど認めない心臓性突然死例(ポックリ病)においても高レムナント血症が認められ、R L Pと血栓・攣縮との関係が報告されています。

高値を示す病態

原発性高脂血症(a , b , , 型)

二次性高脂血症(糖尿病、肥満、甲状腺機能低下症など)

動脈硬化症疾患(脳梗塞、冠動脈疾患、末梢動脈硬化、頸動脈硬化など)

参考資料 日本臨床62巻 増刊号12 臨床病理 第43巻第11号 別冊・医学のあゆみ 高脂血症と動脈硬化

基準値 : 7.5 mg/dl 以下

糖尿病、冠動脈疾患などの既往歴のある場合は

検査方法 : 免疫吸着法

5.2 mg/dl がハイリスク域といわれています

報告日数 : 4 ~ 6日

容器 : 一般用

実施料 : 200点(生化学) 3ヵ月に1回のみ算定



登録衛生検査所

株式会社

中央微生物検査所

大阪市城東区関目5丁目22番23号 〒536-0008
Since 1950 TEL (06)6939-1041(代) FAX (06)6939-1096